

パリジェンヌの春カーディガンはドレープ！インナーの選び方とアレンジ法



前回はパリジェンヌの春スタイルに欠かせないジャケットについて語りました。
今回はジャケットよりも軽やかに羽織って楽しめる「カーディガン」のお話です。

パリジェンヌが好むカーディガンとは？

肌寒い日に重宝するアイテム「カーディガン」。フランス語ではGilet (ジレ) といいます。中でも定番のウエスト丈のものは、羽織るのはもちろんコーデの差し色として肩掛けするなど、アレンジを楽しめるのが魅力です。しかしパリジェンヌたちは、そんなベーシックなカーディガンよりも、ちょっぴりひねりのあるものが好き。例えばサイドにスリットが入って

いたり、前下がりのヘムラインだったり…。

今シーズン、
パリのショップではロングカーディガンが目立ちます

。日本でも何かと話題のアイテムで、この春もたくさん登場していますね。コットンをはじめ、リネンやレースなど素材も豊富です。

さて日本とパリ、どちらでも注目されているアイテムですが、パリジェンヌが好むロングカーディガンとはどのようなもののでしょうか？

春のパリジェンヌカーディガンは「ドレープ」



ロングカーディガンといっても着丈はヒップ下のものから、ふくらはぎまであるものとさまざま。パリの秋冬はアウター

がわりにもなる膝下丈のものが人気でしたが、
この春はヒップが隠れる程度の着丈のものが主流です

。前ボタンがついたシンプルなものをはじめ、カシュクールや共布ベルトがついたガウンタイプなど、様々なデザインを見かけます。

その中でもいちばん使えるのが
「ドレープネックカーディガン」

。羽織ったとき、縦に美しいドレープが現れるのが特徴です。このニュアンスあるデザインがパリジェンヌのお気に入りとなっています。

パリジェンヌはインナーで差をつける！



ドレープネックカーディガンは、ボタンがついていないため上品な印象をあたえます。パリジェンヌは

インナーに薄手のコットンTシャツやブラウスを合わせ、

ボトムスには下半身がすっきり

見えるスキニーデニムをセレクト

。このバランスは彼女たちの定番で、バックスタイルもクールに決まります。

日本では、ワイドパンツを合わせたリラックス感ある着こなしが人気ですね。カーディガンのインナーにはあえてカジュアルなロゴTシャツやボーダーシャツを合わせることも。

パリジェンヌな雰囲気です。ドレープネックカーディガンを取り入れたい場合は、やわらかで薄手のコットンタイプのTシャツをインナーに。パリではオーガニックコットンのものが人気です。またVネックタイプのものを選べば「デコルテ見せ」

でエレガンスが備わりますよ。ブラウスなら衿のないタイプを選びましょう。素材はシルクやレーヨンなど軽いものがおすすめです。

アレンジでおしゃれパリジェンヌを目指す

ドレープネックカーディガンは、変化のある着こなしが楽しめるアイテムです。普段着のパリジェンヌはサラ

ッと羽織るのが定番ですが

、おしゃれなショップスタッフはベルトでウエストマーク

することも。腰のくびれより少し高い位置でウエストマークすることで、脚長効果が得られます。細かいベルトならクールに、太いベルトならモードな表情に早変わり。さらに軽くブラウジングしてもおしゃれです。この魅力はロングタイプのドレープネックカーディガンならではのでしょう。またカーディガンの内側にストールを忍ばせるのも、縦のラインが強調されてスタイルアップが狙えますよ。

そして、フェミニンなワンピースとの相性も抜群です。パリジェンヌ好みのプリント柄ワンピースと合わせてシックに着こなしましょう。フラワープリントはもちろん、旬のボタニカルプリントも見逃せません。

カーディガンの裾をなびかせて

パリの石畳の上を颯爽と歩くパリジェンヌをイメージしてみてください。動きに合わせて裾が揺れるロングカーディガンは、なんともクールです。この春はインナーにもこだわってパリ流のカーディガンスタイルを楽しんでくださいね。次回は初夏までたっぷり着まわせる「シャツ」についてお話します。

執筆 KUMICO



オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

